



# 交通安全分科会

**会場** 京都テルサ (西館 1F テルサホール) [京都市南区東九条下殿田町 70 (新町通九条下ル)]

**交通** 京都市営地下鉄烏丸線「九条駅」4番出口より徒歩5分  
JR「京都駅」八条口西口より徒歩15分  
近鉄京都線「東寺駅」より徒歩5分

**10月25日(金) プログラム(9:00開場) .....**

9:30

**1 交通事故再発防止のための教育施策とその実施結果について**

(株)本田技術研究所 統括機能本部  
人事企画推進室 栃木安全衛生ブロック研究員

**林田 雅文**

既存の取り組みでは、事故を起こした従業員への対策は事故報告書による反省文に留まっていた。この本質的な対策として実技により自分の運転方法の課題や改善方法を自覚させる取り組みを実施した。この教育受講者の事故再発はゼロを継続している。この施策の具体的な内容を報告する。

9:50

**2 ドライブレコーダー (DR)映像等を活用した交通事故防止の取り組みについて**

(株)ユアテック  
安全・品質管理部 安全グループ 副長

**佐藤 憲俊**

交通事故ゼロに向け、車両運転時の自己呼称(コメンタリー運転)を徹底するとともに、実際に起きた交通事故のDR映像を自社で編集し、全社員に定期的に配信するなど危険感受性の向上に取り組んだ結果、前年同期比約3割の削減効果が表れたことから、その具体的な取り組みを紹介する。

10:10

**3 若年者の安全運転意識の高揚と免許種別の理解浸透および酒気帯び運転の根絶を目指す**

(株)九電工 大分支店  
安全管理部 副長

**嶋村 直光**

近年、若年社員の増加にともない、交通事故が増加傾向にある。また運転免許種別の誤認識による道路交通法違反も発生した。安全運転意識高揚策として安全教育の工夫、車両運転・操作任命基準の見直し、免許種別の再確認、アルコール呼气検査の徹底等を実施、成果を収めた取り組みを論述する。

(10:30 ~ 10:40 休憩) 10:40

**4 首都高速道路上での交通管理業務にともなうリスク軽減について**

首都高パトロール(株) 本社  
業務部 業務課長

**宮本 孝行**

1日百万台が通行する首都高速道路では、事故、故障車、落下物を早期に発見・解消し、安全で快適な走行を確保すべく、日夜巡回業務等に取り組んでいるが、現場での作業は危険と隣り合わせである。当社での巡回車両の装備品改良や社員の訓練等のリスク軽減への取り組みを紹介する。

11:00

**5 新入社員を対象とした業務用車事故防止の取り組み**

(株)島津製作所  
人事部 健康安全センター

**平井 豊**

業務用車事故撲滅に向けた様々な対策実施の結果、ピーク時から半分に減ったが、現在頭打ちになっている。その大きな要因は、入社3年目以下の若年層の事故が多いことにある。若年層の業務用車事故防止の視点から、特に新入社員に対する職場配属前後の安全運転教育の取り組みを紹介する。

11:20

**6 都タクシー(株)の健康・安全の取り組み**

都タクシー(株)  
総務部 総務部長

**坂本 彰弘**

京都における都タクシーは、市民の足を守る公共交通機関としての役割だけでなく、観光に来られた方におもてなしの心を伝え安全安心をお届けする役割も同時に果たすことを求められている。一方で高齢者の多い職種としても知られているタクシードライバーの健康管理もとても重要である。

11:40

**7 自分達で取り組む交通安全運転講習**

本田技研工業(株) 鈴鹿製作所  
鈴鹿安全衛生課

**清水 仁**

従業員の交通事故削減に取り組むために何ができるのか。自ら考えて取り組む自主的な安全活動の原点に立ち自分達がインストラクターとなって、職場の仲間から発生した事故事例に寄り添った安全運転講習を導入。二輪による交通事故は着実に減少に結びつき、今四輪へ活動を継承している。

12:00